

令和7年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,159	9,571	4,770	4,801	10	13
2 千 石	4,378	7,074	3,549	3,525	12	21
3 内 山	6,046	8,231	4,435	3,796	15	20
4 大 和	3,771	6,781	3,381	3,400	40	37
5 上 野	7,564	15,337	7,482	7,855	28	41
6 高 見	7,744	13,596	6,476	7,120	5	13
7 春 岡	7,571	11,419	6,065	5,354	33	27
8 田 代	11,484	21,906	10,492	11,414	29	42
9 東 山	10,461	18,899	9,232	9,667	3	△ 28
10 見 付	4,614	8,367	4,203	4,164	△ 4	△ 12
11 星 ケ 丘	3,603	6,785	3,008	3,777	△ 7	△ 11
12 自 由 ケ 丘	3,542	6,990	3,168	3,822	10	11
13 富 士 見 台	6,499	14,793	6,696	8,097	7	9
14 宮 根	3,851	7,846	3,611	4,235	1	△ 6
15 千 代 田 橋	3,792	8,031	3,746	4,285	△ 4	△ 9
千 種 区 計	91,079	165,626	80,314	85,312	178	168
R6. 8. 1	89,791	165,396	80,242	85,154	99	90
対 前 年 比	1288	230	72	158	79	78
名 古 屋 市	1,192,281	2,337,241	1,146,968	1,190,273	1,181	794
愛 知 県 (R7. 7. 1)	3,404,033	7,453,054	3,711,890	3,741,164	2,934	△ 203

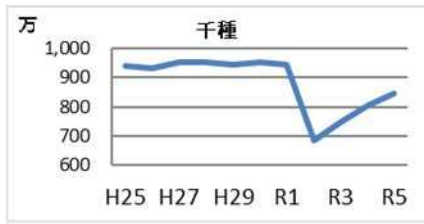
前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	81	124	△ 43	1,154	943	211

【参考】

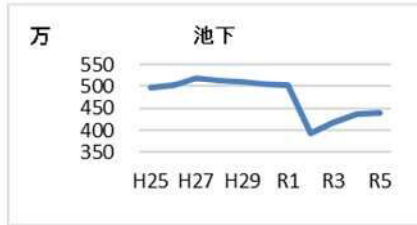
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果を基礎とした本市独自の推計値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

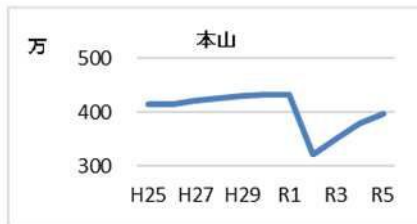
千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況



今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。



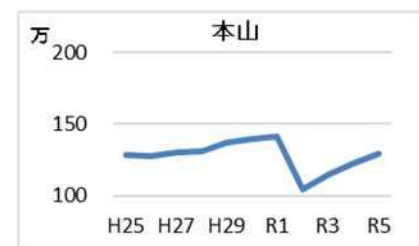
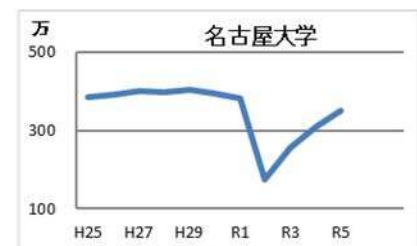
まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、令和5年度の乗車人員数は、多い順に千種（約847万人）、星ヶ丘（約831万人）、今池（約482万人）、池下（約440万人）、本山（約397万人）、覚王山（約322万人）、東山公園（約283万人）となっています。



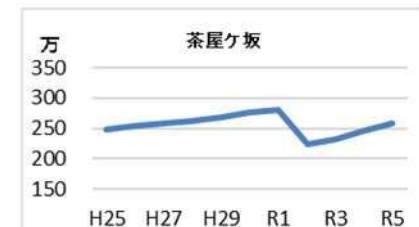
令和5年度はすべての駅で乗車人員数が増加していますが、ピーク時の平成30年度の乗車人員数まで回復していません。特に、星ヶ丘と池下は平成30年度の乗車人員数と比べると約13%から15%減少しており、新型コロナウイルス感染症がもたらした生活様式の変化の大きさがうかがえます。（図1）



図1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数

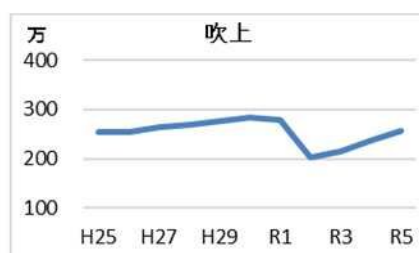


つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見てみると、令和5年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約349万人）、茶屋ヶ坂（約258万人）、自由ヶ丘（約220万人）、本山（約129万人）となっています。



東山線と同様に、すべての駅で乗車人員数が増加しています。特に名古屋大学は乗車人員が新型コロナウイルス感染症の影響を1番大きく受けた令和2年度と比較して約174万人から349万人と約100%増加しています。他の駅の増加率15%前後と比較して突出した増加率となっています。（図2）

図2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数



最後に桜通線を見てみると、令和5年度の乗車人員数は、多い順に今池（約331万人）、吹上（約256万人）です。こちらも乗車人員数は増加しています。（図3）

図3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数